

滝沢市議会の活動展開

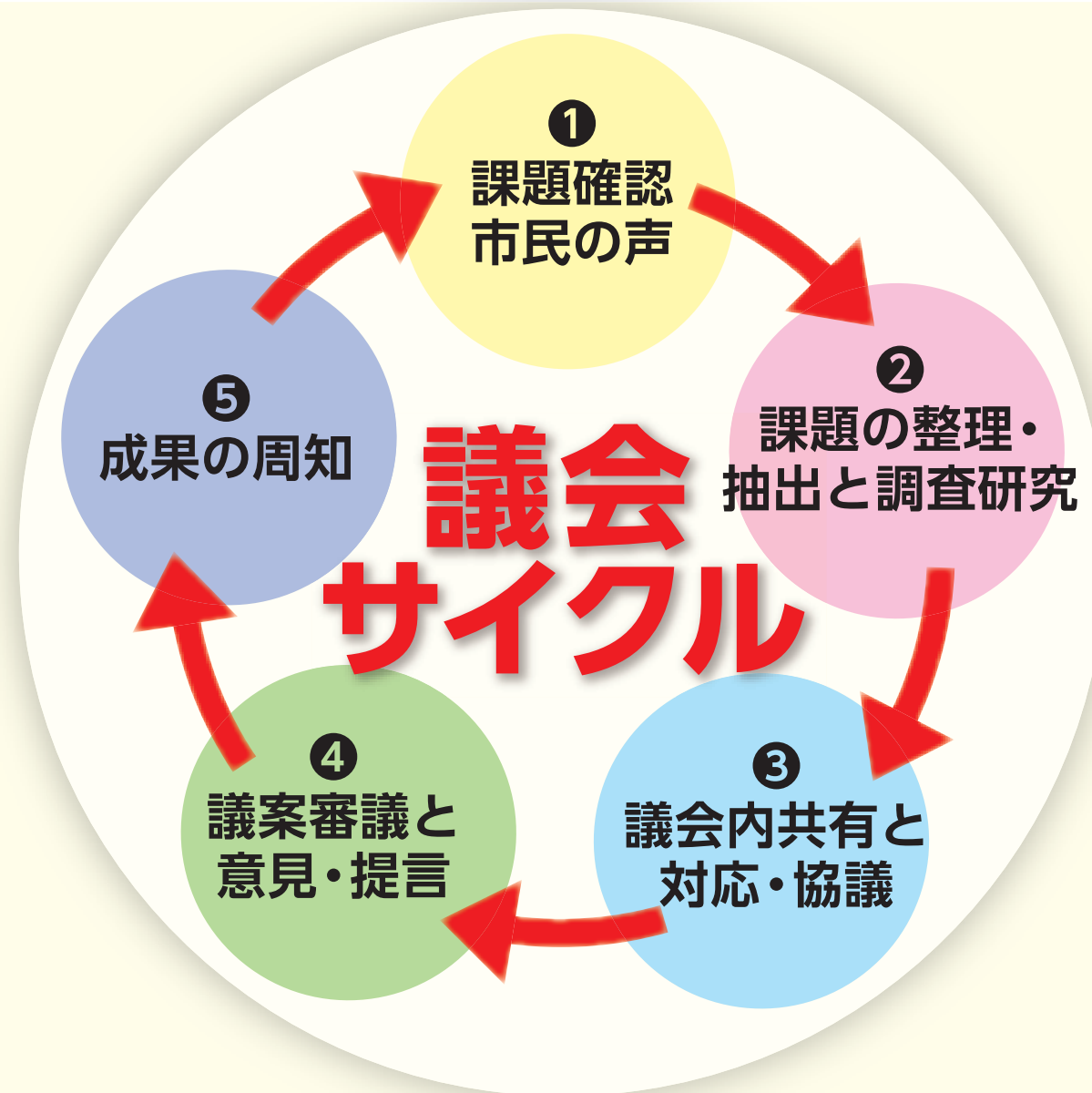
議会では、市民とともに歩む議会をモットーとして、市民の意見や思いを幅広く受け止め、政策論議と活動を進めています。

懇談会や報告会などでいただいた意見・要望を常任委員会で整理し、調査・研究を行い、その経過を議会内で共有を図り、審議・提言等を行っています。

その結果は「議会だより」「議会のホームページ」にて皆様に報告しています。

議会では、これまでのさまざまな取り組みを右の図のように「議会サイクル」としてルール化しました。

また、この取り組みについては、議会改革推進会議において、議会評価を行い、議会基本条例に定めた内容を自らチェックし、常に前向きな姿勢で臨んでいます。



① 課題確認・市民の声

議会では、以下の三つの場面を設定し、市民の声を広く取り入れています。

1つ目として『議会報告会』を行っています。参加者一人ひとりが、気になっている地域の課題や、その解決策等をワークショップを取り入れて行い、その場で内容を整理しながら地域課題を共有します。

そのことにより、地域の課題が具体的になり、議会で議論すべき核心が見えてきます。



2つ目は『市民懇談会』です。懇談会の開催は、委員会で市民の声を参考とするために議会からお願いするものと市民団体からお声掛けいただくものと二通りあります。

地域の課題のほかに団体の目線で捉えている課題も重要と考えています。

3つ目は『市民議会』です。幅広い年代から未来の滝沢市への想いをいただくことを大切に、干支議会やU22など趣向を凝らして取り組んでいます。

議場体験や発表者同志でさまざまな意見の共有ができることなど、参加者にとっても意味あるものと捉えています。

市民の声は議会が設定するほかにも、市民からの請願・陳情等をいただいています。

⑤ 成果の周知

- ①～④の議会活動の成果は
- 議会だより
- ホームページ
- 議会報告会等で常に情報公開し、議会の動きをお伝えしています。



④ 議案審議と意見・提言

政策提言した内容や、調査・研究した成果を、議員全員が共有し、議案や予算・決算の審査に活かしています。市民の意見や、議会の意見・提言がどの程度市の政策等に反映されているかの視点で、チェック機能を果たします。

③ 議会内共有と対応・協議

各常任委員会の進捗よく状況や調査報告内容等、議員間の情報共有を重視し、議会の方向性などを全員協議会で協議します。また、必要に応じて政策提言すべき内容かどうか議員全員で協議します。

② 課題の整理・抽出と調査研究

議会報告会、市民懇談会、市民議会、請願、陳情等で寄せられる内容は1つひとつ整理し、いろいろな角度から議論をしていきます。議会の中に置かれている常任委員会が大きな役割を担っています。議論を深めるために、論点をホワイトボードに書き出すなど、委員会内で見える化を行いながら、課題を整理していきます。

議員一人ひとりの考えを提案しながら進めることにより、本筋を見だし現地調査や、市民懇談会などで不足な情報を集約し、議論を深めていきます。この議論は、個々の議員の力を集結した「チーム議会」を意識して進めています。

議会への期待インタビュー

商工業者の元気が滝沢市の地域活性化につながります。議会からのご支援を期待しています。



滝沢市商工会 会長 阿部 正喜さん



滝沢市学童保育連絡協議会会長 佐々木 敦享さん

子どもたちがのびのびと生活し働く親が安心して暮らせるまちづくりをこれからも続けていただきたいです。



滝沢市自治会連合会会長 下田 富幸さん

議会改革に向けた不断の取り組みに敬意を表します。一方、条例に基づく議会の検証については市民感覚目線を取り入れる工夫が必要と考えます。



滝沢市 PTA 連絡協議会会長 山口 恒司さん

子どもたちが日々安心・安全に過ごせて「この街で育って良かったな」と将来思える魅力的なまちづくりをお願いしたいです。

後期基本計画の検証

滝沢市総合計画は、基本構想計画期間を前・後期各4年間に区分して、進められています。総合計画の中の構想部分については、議会の議決が伴うことから進行中の計画をチェックするとともに、次期総合計画に向け調査・提言に進めていきます。調査・提言は、市が計画の展開戦略として掲げている「健康づくり」「若者定住」の二つを柱として進めます。

取組内容

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
調査開始 課題の抽出					
調査終了 提言のまとめ					
調査の修正 提言					
次期総合 計画への 反映チェック					
次期総合計画 予算への反映チェック 採決					

※この内容は、議会報告会等で報告致します。